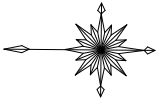


①
N0115+19.11推定
企業団水道橋管中心高=676.78
本業務水道橋管中心高=676.86
676.86-676.78=0.08

法面復旧 盛土工
盛土工A (0.15+0.24)*1/2*2.5=0.5m3
(0.24+0.24)*1/2*2.5=0.6m3
盛土工B (0.00+0.63)*1/2*3.0=0.9m3
(0.00+0.63)*1/2*3.0=0.9m3
合計=2.9m3



測点名	X座標	Y座標	Z座標
T-1	0.000	0.000	677.591
T-2	0.000	27.000	680.861
T-3	-9.512	-0.488	676.600
KBM1	-12.241	-5.267	675.980
KBM2	-1.982	4.767	677.734
KBM3	-0.550	15.558	679.264
KBM4	-5.421	26.375	680.898
計画水路の測点			
p0.0	-11.707	2.754	
p0.0R2.0	-13.248	4.029	
p0.0L2.0	-10.166	1.479	
p5.0	-8.520	6.607	
p5.0R2.0	-10.270	7.575	
p5.0L2.0	-6.770	5.639	
p14.0	-5.692	15.151	
p14.0R2.0	-7.646	15.580	
p14.0L2.0	-3.739	14.723	
p21.4	-4.863	22.505	
p21.4R2.0	-6.850	22.729	
p21.4L2.0	-2.875	22.280	
p26.0	-4.347	27.076	
p26.0R2.0	-6.335	27.300	
p26.0L2.0	-2.360	26.851	
p30.8	-3.809	31.845	
p30.8R2.0	-5.797	32.069	
p30.8L2.0	-1.822	31.621	

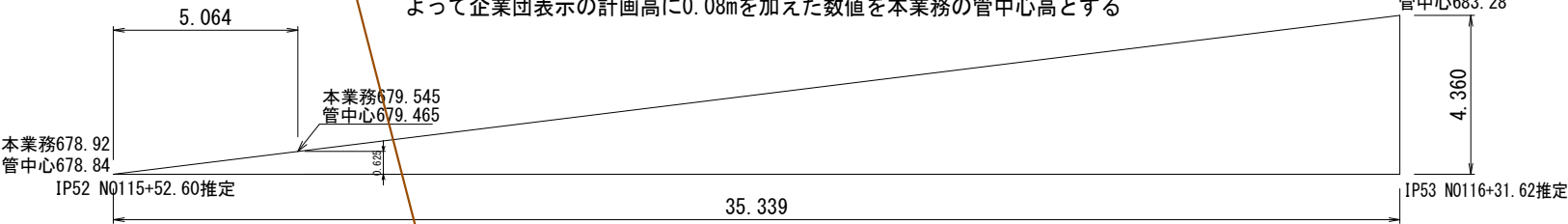


施工方法

- 1) 仮排水路は既設の樹及びベトンフリーム400を利用する。
- 2) 起点p0.0～p21.4区間の土工後、コレクトフリーム、巻立工を施工する。
- 3) p21.4～p30.8区間の土工後、集水樹、横断側溝を施工、p30.8の集水樹は新設の水路、横断側溝を仮排水路として利用後、施工する。
- 4) 既設のベトンフリーム400を撤去、法面復旧 盛土工を施工する。
- 5) 復旧舗装工施工

用水企業団水道管について

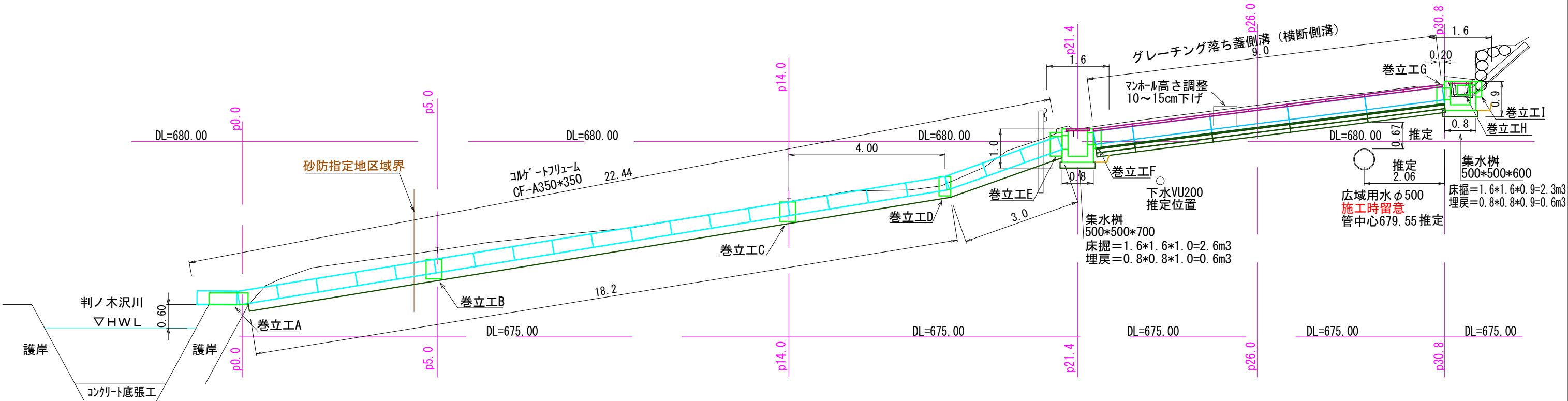
- ①埋設位置 推定
上伊那広域水道用水企業団からの資料より水道管法線のIP51～IP53の日本測地系座標を世界測地系に変換して平成24年度県単道路改築・砂防合併事業用地測量調査等業務の現地に残存する基準点、境界から現地に残存する基準点、境界から現地に復元すると共に本業務での基準点を関連つけた。
- ②埋設深さ(標高) 推定
上伊那広域水道用水企業団の資料は水道管の中心高(標高)が表示されているが基準となる水準点は国家水準点と考えられる。本業務では箕輪町の下水道マホールの標高としている。よって企業団表示の計画高に0.08mを加えた数値を本業務の管中心高とする



実施図

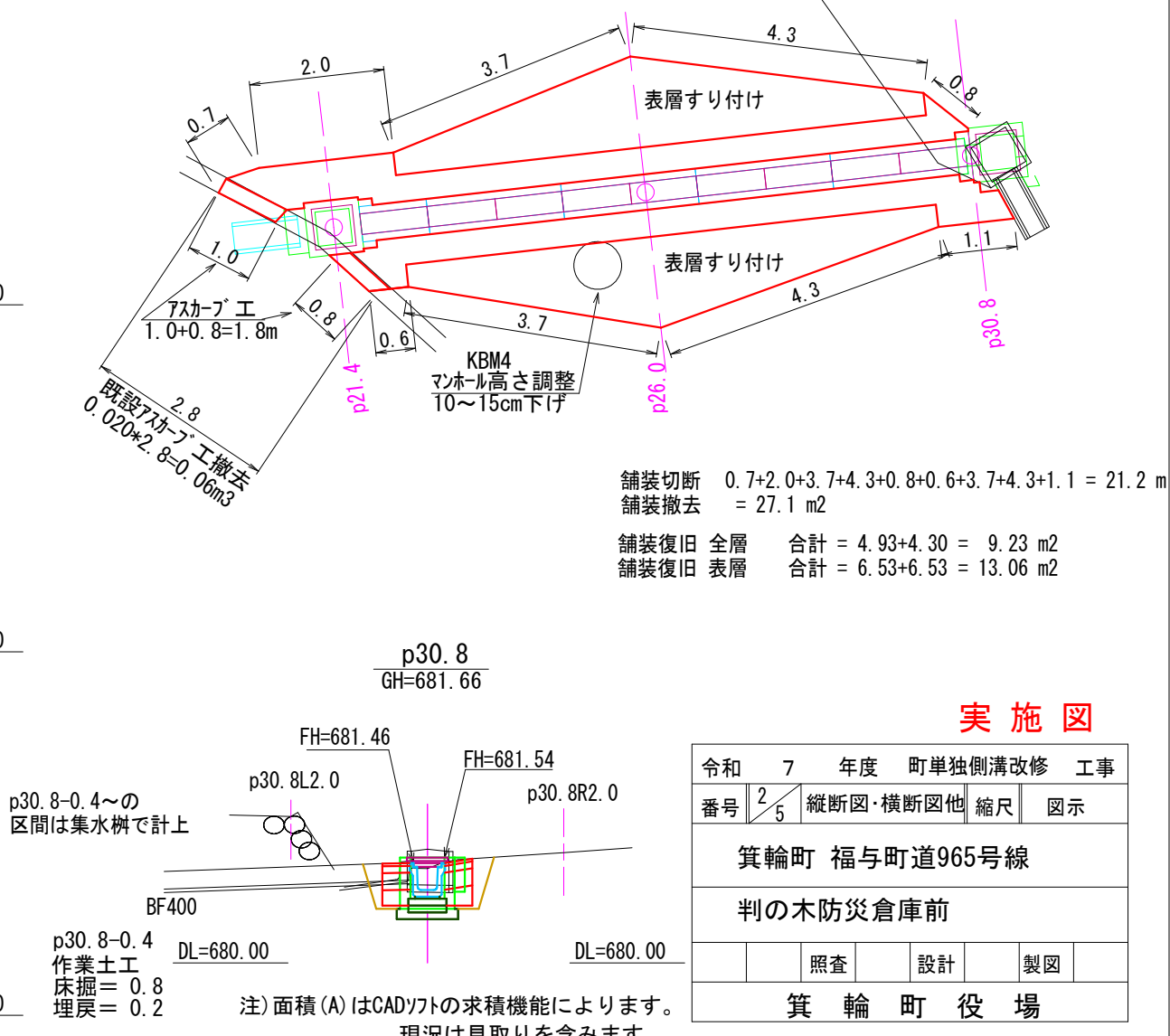
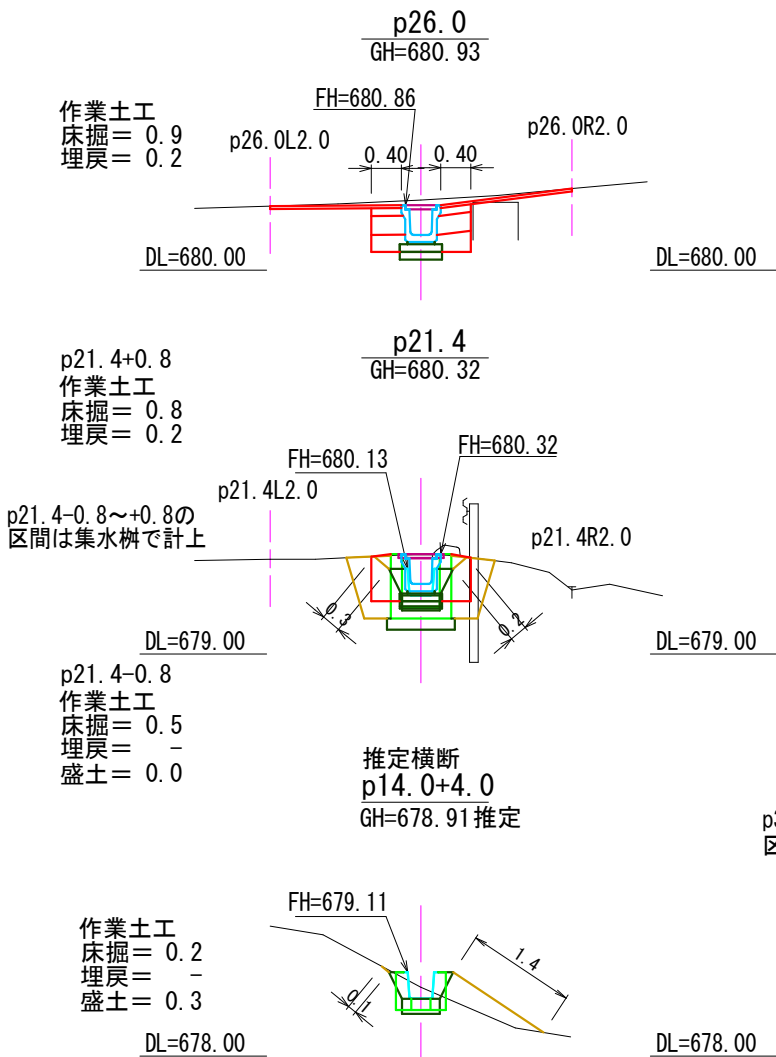
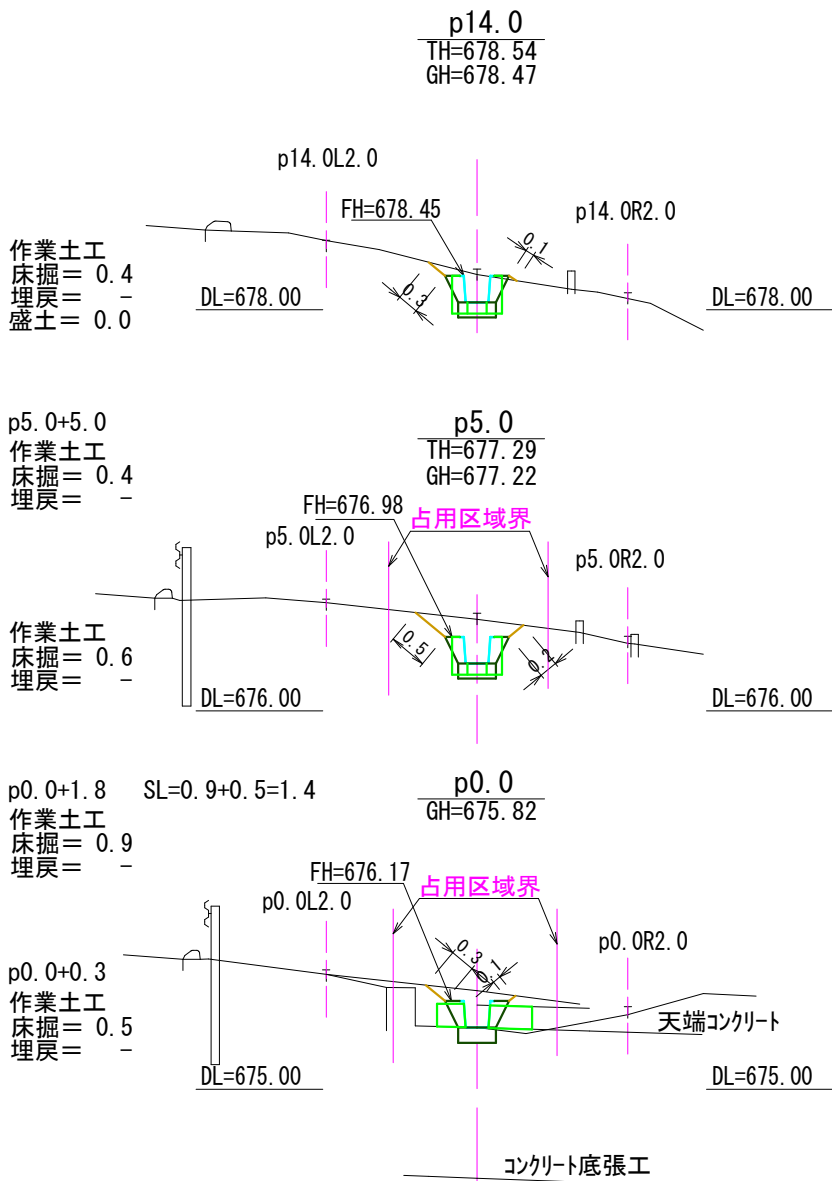
令和 7 年度 町単独側溝改修 工事				
番号	1/5	平面図	縮尺	図示
箕輪町 福与町道965号線				
判の木防災倉庫前				
				製図
箕輪町役場				

注) 面積 (A) はCADソフトの求積機能によります。



横断図 S=1/100

舗装展開図 S=1/100

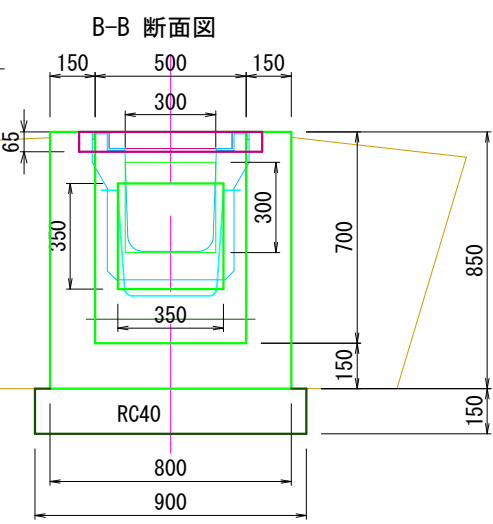
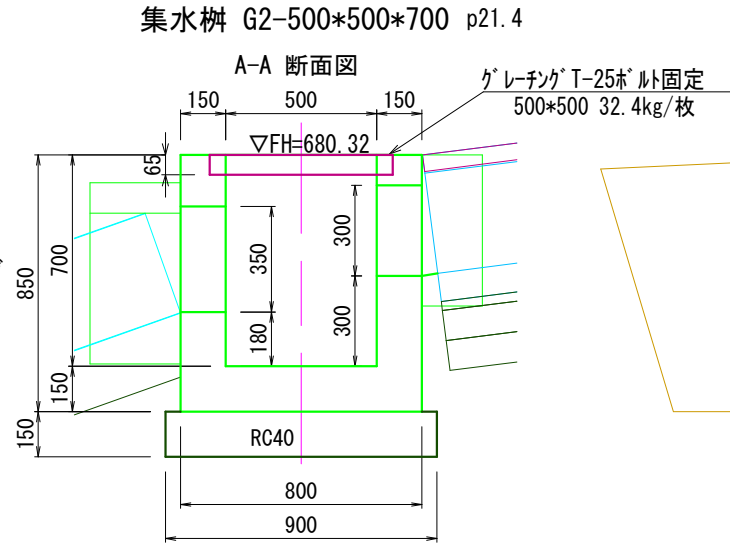
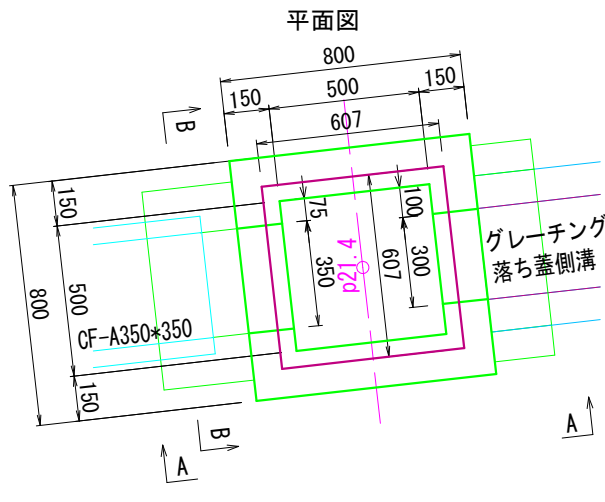
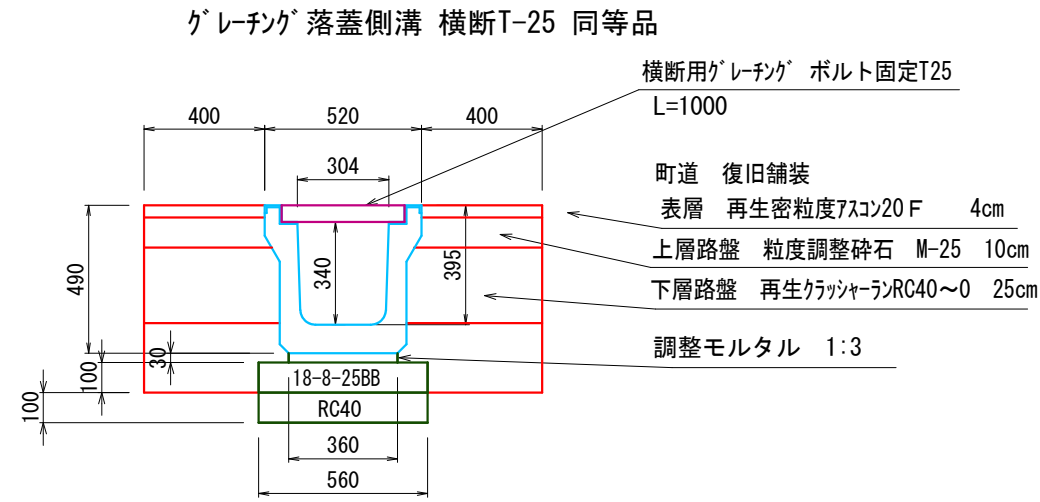


実施図

令和	7	年度	町単独側溝改修	工事
番号	2/5	縦断図・横断図他	縮尺	図示
箕輪町 福与町道965号線				
判の木防災倉庫前				
	照査	設計	製図	
箕輪町役場				

注) 面積 (A) はCADソフトの求積機能によります。
現況は見取りを含みます

構造図 1 S=1/25



10m当り数量

製品 グレーチング 落蓋側溝300A 横断T-25 同等品 L=2000 参考質量464kg/本= 5本

製品 グレーチング 落蓋側溝300A 横断T-25 同等品 L=1000 参考質量232kg/本=10本

基礎コンクリート 0.10*0.56*10.0= 0.56m3

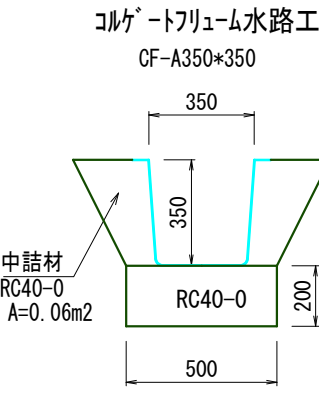
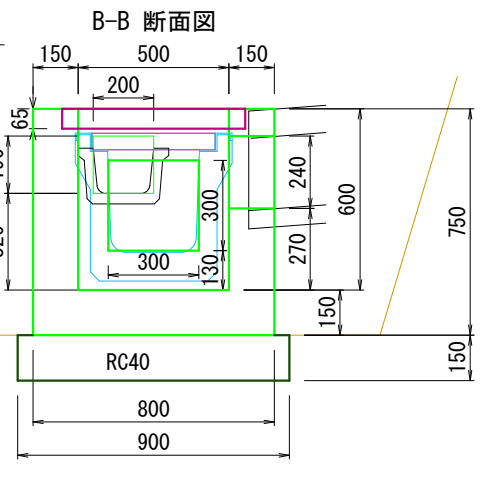
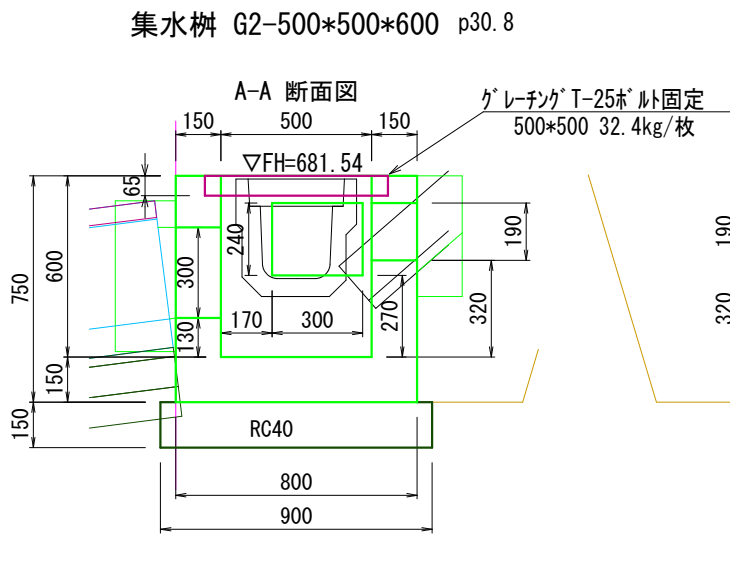
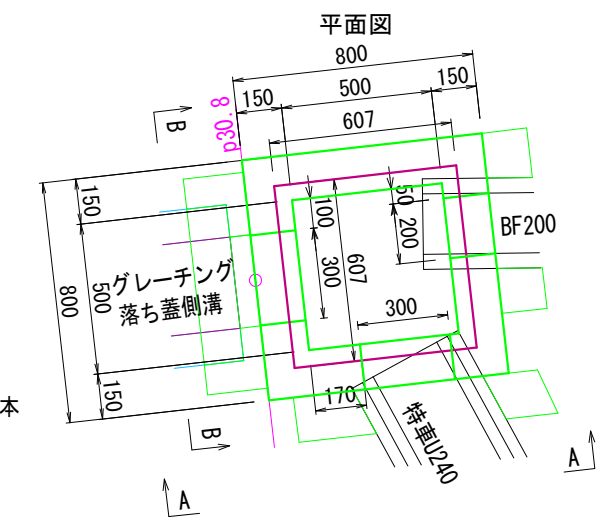
調整モルタル 1:3 t=3cm 0.03*0.36*10.0= 0.11m3

型枠 0.10*2*10.0= 2.0m2

基礎碎石 t=10cm 0.10*0.56*10.0= 0.56m3

蓋 W300用ボルト固定グレーチング L=995 10枚

基面整正 0.56*10.0= 5.6 m2



10m当り数量

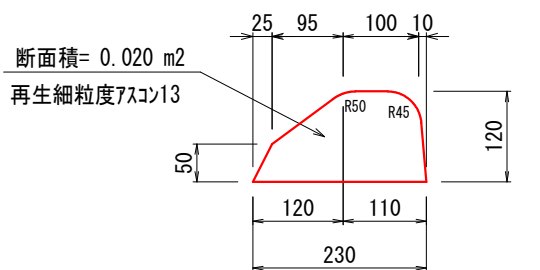
製品 A-350*350 板厚=1.6mm 本体有効長=1020 参考質量15.7kg/m = 9.8 本
(M10ボルト= 4.90組/m 0.23kg/m パッキング材10*50含む)

基礎碎石 RC40-0 t=20cm 0.20*0.50*10.0= 1.00 m3

中詰材 RC40-0 0.06*2*10.0= 1.20 m3

基面整正 0.50*10.0= 5.0 m2

アスカーブ工標準図 S=1/10
L=12.0m



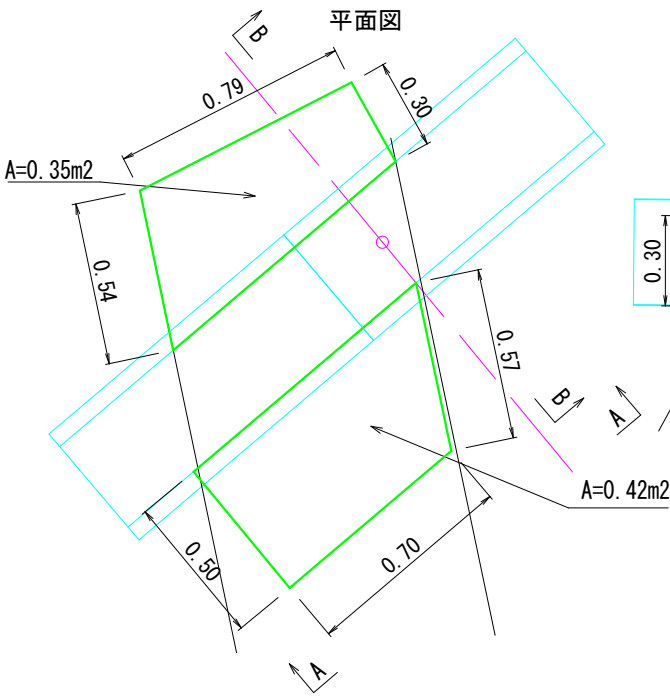
断面積は長野県標準設計図面p5より

実施図

令和	7	年度	町単独側溝改修	工事
番号	3/5	構造図 1	縮尺	図示
箕輪町 福与町道965号線				
判の木防災倉庫前				
	照査	設計	製図	
箕輪町役場				

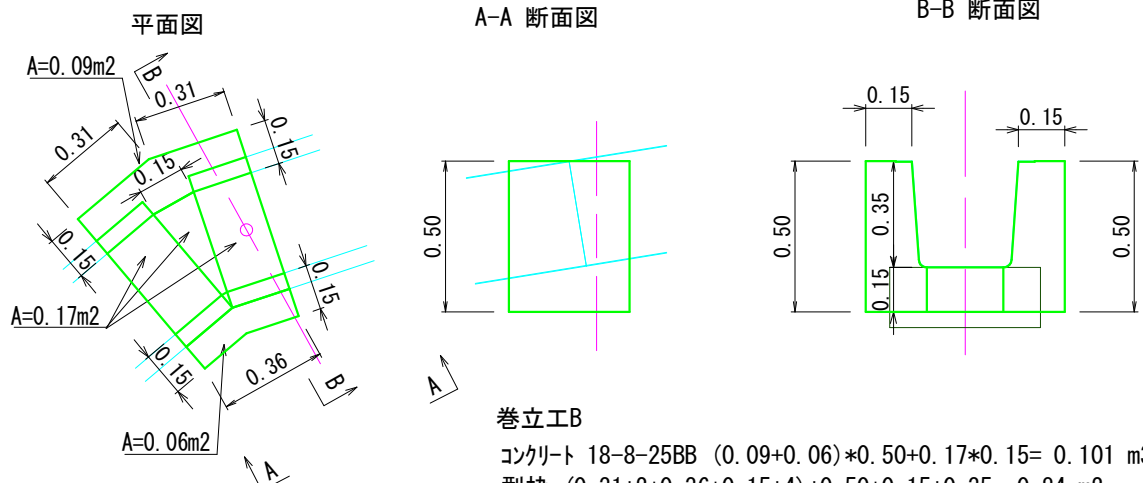
注)面積(A)はCADソフトの求積機能によります。
現況は見取りを含みます

巻立工A



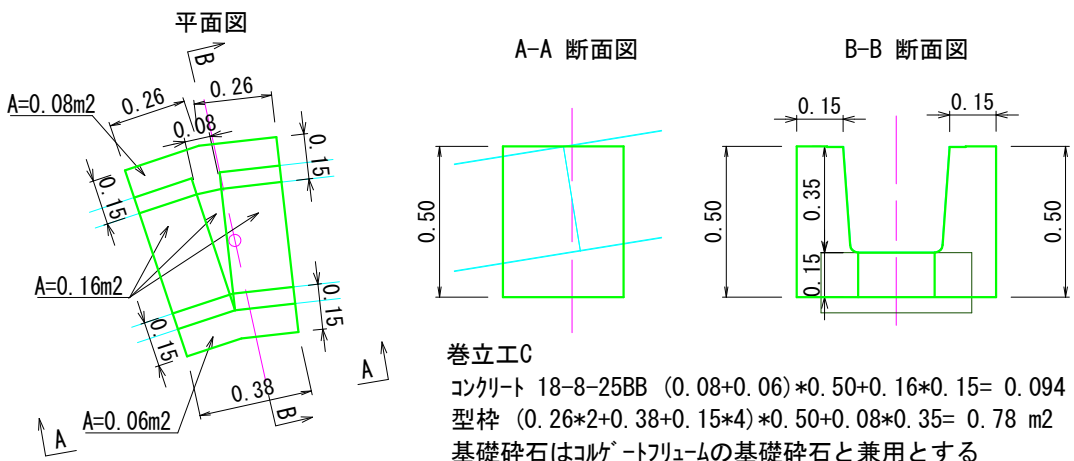
巻立工A
コンクリート 18-8-25BB (0.35+0.42)*0.30= 0.231 m3
型枠 (0.54+0.79+0.30+0.50+0.70+0.57)*0.30= 1.02 m2
基礎碎石はコルゲートリウム基礎碎石と兼用とする
床掘はコルゲートリウムに含む、埋戻は0.1m3とする

巻立工B



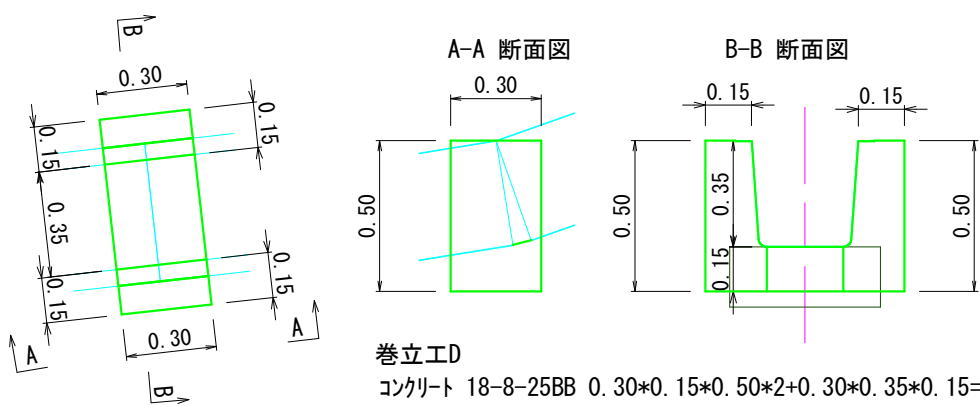
巻立工B
コンクリート 18-8-25BB (0.09+0.06)*0.50+0.17*0.15= 0.101 m3
型枠 (0.31*2+0.36+0.15*4)*0.50+0.15*0.35= 0.84 m2
基礎碎石はコルゲートリウム基礎碎石と兼用とする
床掘はコルゲートリウムに含む、埋戻は0.1m3とする

巻立工C



巻立工C
コンクリート 18-8-25BB (0.08+0.06)*0.50+0.16*0.15= 0.094 m3
型枠 (0.26*2+0.38+0.15*4)*0.50+0.08*0.35= 0.78 m2
基礎碎石はコルゲートリウム基礎碎石と兼用とする
床掘はコルゲートリウムに含む、埋戻は0.1m3とする

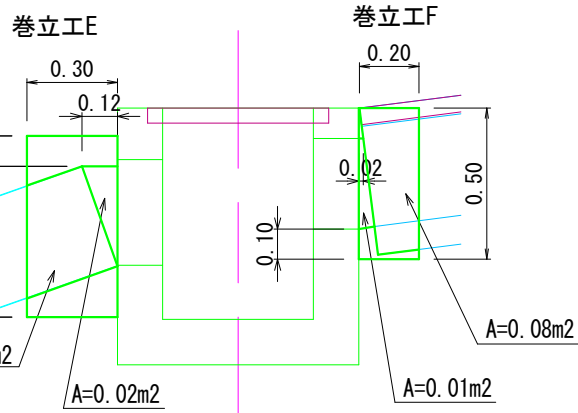
巻立工D



巻立工D
コンクリート 18-8-25BB 0.30*0.15*0.50*2+0.30*0.35*0.15= 0.061 m3
型枠 (0.30*2+0.15*4)*0.50+0.35*0.15*2= 0.71 m2
基礎碎石はコルゲートリウム基礎碎石と兼用とする
床掘はコルゲートリウムに含む、埋戻は0.1m3とする

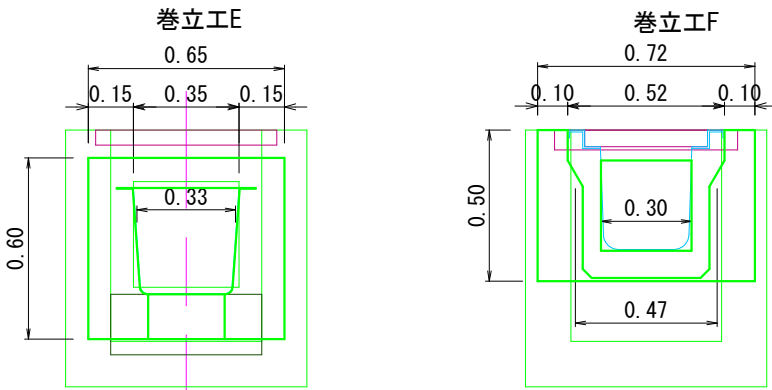
巻立工E, F

A-A 断面図



巻立工E
コンクリート 18-8-25BB 0.30*0.60*0.65-(0.09+0.02)*0.33= 0.081 m3
型枠 0.30*0.60*2+0.15*0.60*2+0.12*0.35+0.02*2= 0.62 m2
基礎碎石はコルゲートリウム基礎碎石と兼用とする
床掘、埋戻は集水桝に含む

B-B 断面図

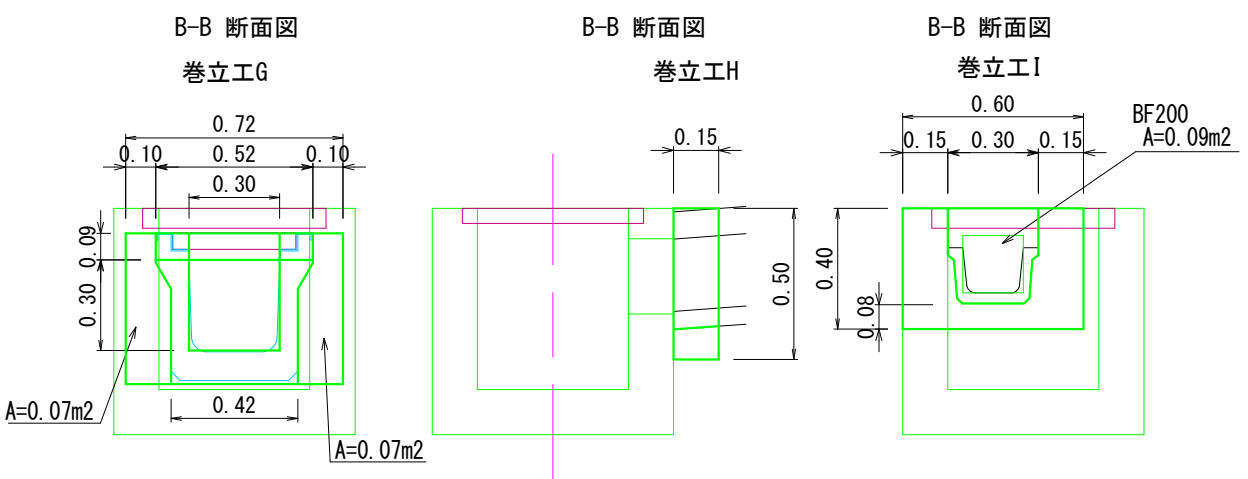
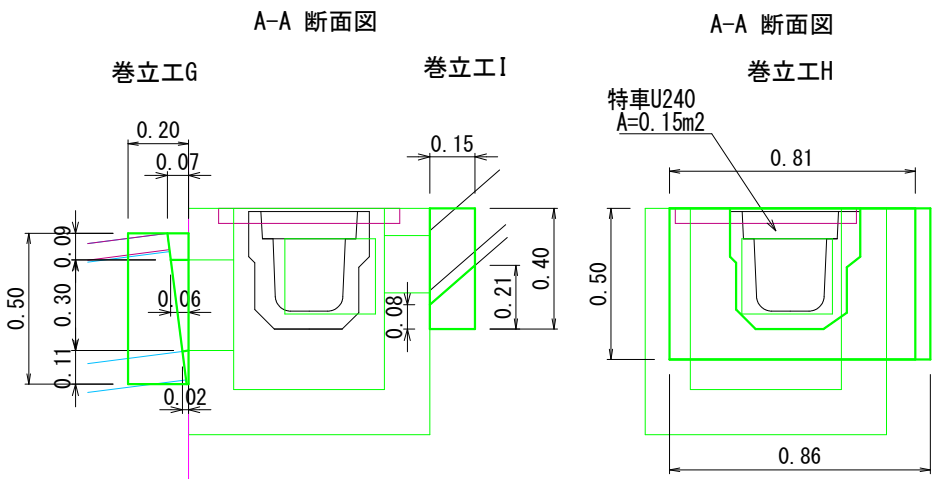
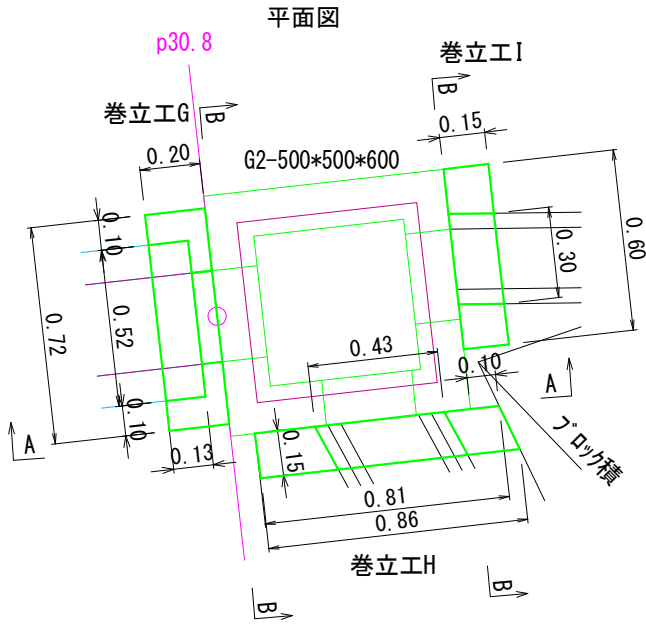


巻立工F
コンクリート 18-8-25BB 0.20*0.50*0.72-0.01*0.30-0.08*0.47= 0.031 m3
型枠 0.20*0.50*2+0.10*0.50*2+0.02*0.30+0.01*2= 0.33 m2
基礎碎石は落蓋側溝の基礎碎石と兼用とする
床掘、埋戻は集水桝に含む

注) 面積 (A) はCADソフトの求積機能によります。
現況は見取りを含みます

実施図

令和	7	年度	町単独側溝改修	工事
番号	4/5	構造図 2	縮尺	図示
箕輪町 福与町道965号線				
判の木防災倉庫前				
	照査	設計	製図	
箕輪町役場				



巻立工G
コンクリート 18-8-25BB $0.07 \times 0.20 \times 2 + (0.07 + 0.06) \times 1/2 \times 0.09 \times 0.52 + 0.02 \times 0.11 \times 1/2 \times 0.42 = 0.032 \text{ m}^3$
型枠 $0.20 \times 0.50 \times 2 + 0.07 \times 2 + 0.07 \times 0.52 + 0.06 \times 0.30 \times 1/2 \times 2 = 0.39 \text{ m}^2$
基礎砕石は、落蓋側溝の基礎砕石と兼用とする
床掘、埋戻は集水桝に含む

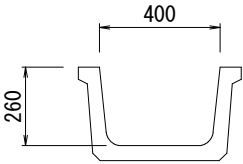
巻立工I
コンクリート 18-8-25BB $0.60 \times 0.40 \times 0.15 - 0.09 \times 0.15 = 0.023 \text{ m}^3$
型枠 $0.60 \times 0.40 \times 0.15 \times 2 - 0.15 = 0.21 \text{ m}^2$
基礎砕石はBF200の撤去・再設置の基礎砕石と兼用とする
床掘、埋戻は集水桝に含む

巻立工H
コンクリート 18-8-25BB $(0.81 + 0.86) \times 1/2 \times 0.50 \times 0.15 - 0.15 \times 0.15 = 0.040 \text{ m}^3$
型枠 $0.86 \times 0.50 + 0.15 \times 0.50 - 0.15 \times 0.10 \times 0.50 = 0.31 \text{ m}^2$
基礎砕石は特車U240の撤去・再設置の基礎砕石と兼用とする
床掘、埋戻は集水桝に含む

撤去工

既設BF400 I型 L= 37.0 m
既設BF400 II型 L= 2.0 m

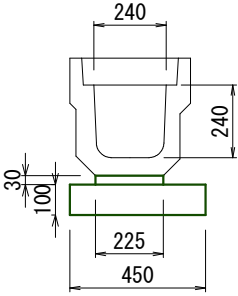
コンクリート二次製品 2500kg/m³



製品 227kg/2m I型
 $227/2500 = 0.091 \text{ m}^3/2\text{m}$
製品 243kg/2m II型
 $243/2500 = 0.097 \text{ m}^3/2\text{m}$
 $0.091 \text{ m}^3/2\text{m} \times 37.0\text{m} = 1.68 \text{ m}^3$
 $0.097 \text{ m}^3/2\text{m} \times 2.0\text{m} = 0.10 \text{ m}^3$
計=1.78 m³

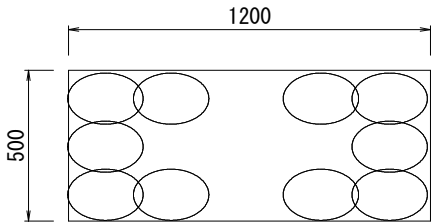
撤去・再設置工

特車U24 L=1000
撤去・再設置 L=1.0 m



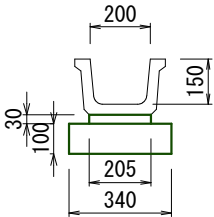
10m当り数量
製品 特車U240 L=1000 参考質量138kg/本=10本
調整モルタル 1:3 t=3cm $0.03 \times 0.23 \times 10.0 = 0.07 \text{ m}^3$
基礎砕石 RC40-0 t=10cm $0.10 \times 0.45 \times 10.0 = 0.45 \text{ m}^3$
基面整正 $0.45 \times 10.0 = 4.5 \text{ m}^2$

フソコ[®] 1.2*0.5
撤去・再設置 L=1.4 m



1箇所当り数量
詰石量 $1.2 \times 0.5 \times 1.4 \times 0.95 = 0.80 \text{ m}^3$

ベンチフリューム200
撤去・再設置 L=2.0 m



10m当り数量
製品 ベンチフリューム200 L=2000 参考質量90kg/本=5本
調整モルタル 1:3 t=3cm $0.03 \times 0.21 \times 10.0 = 0.06 \text{ m}^3$
基礎砕石 t=10cm $0.10 \times 0.34 \times 10.0 = 0.34 \text{ m}^3$
基面整正 $0.34 \times 10.0 = 3.4 \text{ m}^2$

注)面積(A)はCADソフトの求積機能によります。
現況は見取りを含みます

実施図

令和	7	年度	町単独側溝改修	工事
番号	5/5	構造図 3	縮尺	図示
箕輪町 福与町道965号線				
判の木防災倉庫前				
	照査	設計	製図	
箕輪町役場				